

航空の脱炭素化推進に係る工程表

(航空機運航分野におけるCO₂削減に関する検討会)

国土交通省航空局

令和3年12月

工程表(①機材・装備品等への新技術導入)



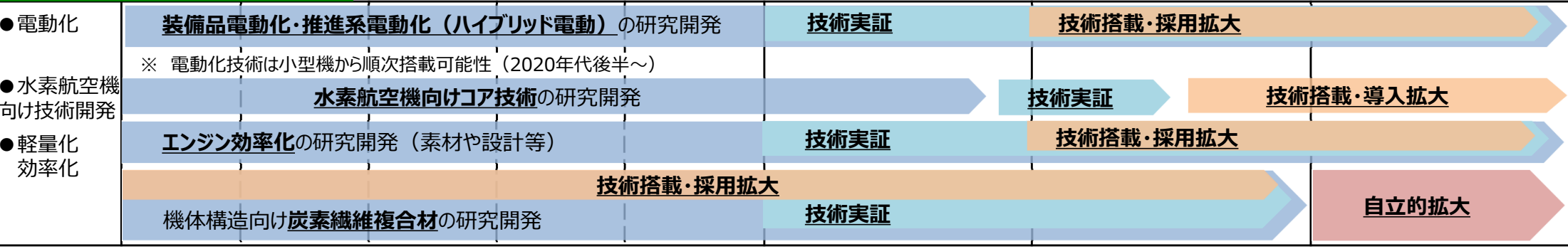
工程表の基本的な考え方

- 世界に先駆けて我が国の環境技術の実用化を進め、航空分野の環境対策を推進するためには、産学官が連携し、技術実証の開始(2025年～)までに、戦略的に安全基準・国際標準の検討を進めることが重要。
- 2020年12月に策定されたグリーン成長戦略における航空機の技術開発に係る工程表を踏まえ、2022年度に設置する新技術官民協議会(仮称)において、2023年度以降の基準策定等の取組に関する計画を作成し、計画に沿って基準策定等を進めるとともに、並行して国内製造事業者の認証活動のサポート及び認証を行うこととする。



※ 上記技術分野は例示であり、他の環境技術についても基準策定等の対象となる可能性がある。また、計画作成後、必要に応じ対象技術の見直しを行うこととする。
 ※ 「空飛ぶクルマ」については、別途設置されている「空の移動革命に向けた官民協議会」において取り扱い、必要に応じて意見交換を行うこととする。

(参考) グリーン成長戦略



工程表(③SAFの導入促進、炭素クレジット)

●凡例

1. 調査・検討フェーズ

2. 実証フェーズ

3. 本格運用・導入拡大フェーズ

